

「庶民のこころを政策で実現します！」

谷井いさお 10の実績！

ソフト編

2,000件を超える県民相談から実現した主な実績です！

初当選から4年。道路補修から心の問題まで、大小様々な実績を積み上げてきた。何より行動あるのみ。庶民の願いをカタチにしたい一心で、走り続けた。

1 ところ豊かな人づくりと芸術文化立県を——

青少年向け演劇鑑賞事業『ピッコロわくわくステージ』を実現。次代を担う若者に本物の希望する中学校が県立劇場で生の舞台芸術のすばらしさを体感させてあげたいとの提案を実現することができ、本年度より『ピッコロわくわくステージ』が始まりました。



ピッコロわくわくステージ「さらって行ってよピーターパン」の舞台

2 視覚障がい者も乗れるタンDEM自転車、兵庫県の一般公道の走行可能を実現。

ボランティア活動をされている愛好家から要望を受け、7月、県内の公道走行を健康者と視覚障がい者が一緒に乗ってサイクリングを楽しむことができるタンDEM自転車の公道走行の解禁を粘り強く訴えた結果、2008年の愛知から要望を受け、7月、県内の公道走行を健康者と視覚障がい者が一緒に乗ってサイクリングを楽しむことができるタンDEM自転車の公道走行の解禁を粘り強く訴えた結果、2008年



「グリーンピア三木トライアスロンフェスティバル2010」では、今回初めて全盲の女性が参加する事ができました。

3 心の問題を抱える生徒への支援体制の確立を推進。

深刻化する心の問題に適切に対応するために、管理職や生徒指導担当教員には、スクールカウンセラーによる健康観察や養護教諭による健康相談、校内委員会の設置等の組織的に対応を図ると共に、スクールカウンセラーの全公立中・高等学校への配置や小学校への配置を拡充し、児童生徒の心の問題を早期発見し、対応できる体制を強化しています。



4 塚口病院と尼崎病院の統合再編。24時間対応できる、断らない救急医療。リスクの高い妊娠・出産にも応じる総合病院を推進。

県立塚口病院と県立尼崎病院を統合し、尼崎市に新病院を建設する基本構想の中に、救急患者に24時間365日断ることなく対応できるER型救命救急医療の提供、また塚口病院で実施してきた女性総合外来も引き続き継続実施することを要望しました。跡地については医療機能などが残るよう強く要望しています。



県立尼崎病院と統合再編されることになった塚口病院

5 生計困難世帯の支援策、緊急小口貸付制度の限度額の増進を実現。

緊急小口貸付制度は兵庫県社会福祉協議会が実施主体となり運営されてきましたが、貸付限度額が5万円と少額であり、不良債権化の恐れがあるとして、実施にむけては消極的でした。そこでこの度、限

8 旧武庫之荘高等学校跡地に新設高等学校と多部制単位制高等学校の併設を推進。

平成19年から取り組んできた「はばたきサポート」事業において、障がいのない生徒と障がいのある生徒との相互理解と認識が深まりました。このような成果を踏まえ、旧武庫之荘高等学校跡地を活用し、平成24年開校予定の多部制単

6 自転車事故は10年で約6倍 安全運転の推進と保険加入の促進を実現。

近年、自転車関係の事故は、全事故に占める割合が年々増加しており、人対自転車事故は、平成12年は26件でしたが、平成21年は161件と約6倍となり、自転車運転者が高額賠償請求される事例も増

9 安心・安全のまちづくり 防犯カメラを設置する地域団体に補助を実現。

まちづくり防犯グループなどから、防犯活動にカメラの設置を支援して欲しいとの声があり、県として、グループや地域団体の防犯活動を防犯設備の面から支援する防犯カメラ設置補助事業を実施す

7 演劇ワークショップを活用した 教職員研修の推進を実現。

演劇の手法を取り入れたゲームなどを通して、普段は使わない筋肉や感覚を動かしながら言葉以外の体や表現を使ったコミュニケーションの方法を学ぶ演劇ワークショップは、教員に

10 県立高等学校の教室へのクーラー設置推進を実現。

学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす学習生活の場であり、安全で良好な学習環境を確保することが重要です。このため、県立高等学校の空調設備の整備については、平成22年度から全普通教室へ導入する取り組みを始

公明党・県民会議で実現した主な政策



ドクターヘリ

ヒブワクチン接種 県の公費助成制度が実現

ヒブワクチン接種の公費助成を行う市町を支援する県の制度がスタートしました。ヒブワクチンは、乳幼児がインフルエンザ菌b型などにより発症する細菌性髄膜炎の予防に有効で、4回接種で約3万円と自己負担が大きいと認め、これまで公明党県民会議として機会あることに要望してきたもので

妊婦健診助成が拡充

県の「妊婦健診助成制度」がスタートしてから、県内41市町が公費負担を実施。平均回数も4.4回から標準とされる14回まで大幅拡充され、家計の負担軽減に役立っています。

優良な住宅を普及

長期優良住宅の普及へ、県内では初となる官民協力のフェアを開発し、住宅を新築した場合の支援制度を紹介。住宅耐震改修費の補助を09年から拡充されています。

待望のドクターヘリ運航

医療機器を装備したヘリコプターに、救急医療の専門医師や看護師が搭乗。現場で救急医療を開始し、医療機関に傷病者を搬送します。半径50キロ圏内なら15分以内に直行でき救命率アップに期待が寄せられています。

